

天高く「ことば」肥ゆる秋

<今月の聖句>

あなたがたの名が天に記されていることを喜びなさい。

(マルコによる福音書 10章 20節)

今朝、家の前の池付近に、人の集まっている声が聞こえました。
行ってみると、一歳児クラスのこどもたちが、何やら話し合いをしています。

「~ぎょっ」「~ぎょっ」「かな」「かな」

どの子も真剣なまなざしで、立ったまま、互いに声をかけあっています。

出ていったわたしにも懸命に何かをうたえてくれますが

何をいっているのか、わかりません。

でも、さっきからずっと笑顔で、その様子をながめていたご近所の方が

「そう、きんぎょ、いたの、よかったね」と話しかけてくれたのをたよりに

池をのぞきこんでみると、藻の間で、まっかなぷりぷりきんぎょが

静かに、尾ひれをふっていました。

春からかえるの姿をみかけないなと思っていたら、

今年、池は、もうすっかり、きんぎょさんのおうちに模様替え。

秋のおだやかな日差しに包まれて、のんびり泳ぐきんぎょを

いくつもの小さなまなざしが、いつまでも追いつづけていました。

池に金魚がいる。大人にとっては当たり前の、日常の一コマですが

地球に生まれてまもない彼ら彼女らにとっては

どれほど、衝撃ニュースであったことでしょう。

その感動を一生懸命、「ぎょっ、ぎょっ」と伝えようとしていた。

そこにあるのは、今の自分の気持ちをまわりの友だちや保育者は

きっと受け止め、わかってくれるはずという信頼と自信。

この安定した関係性があるから、子どもたちは

安心して心をひらき、言葉を育んでいけるのでしょう。

ちなみに、先ほどの「かな」は「お・さ・かな」なことであったと

わたしはあとになってから思い当たりました。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<礼拝のご案内>

毎週日曜日あさ10時30分 だいが教会

心あたたまる讃美歌、聖書のおはなし。共に主に感謝しましょう

はじめての方を歓迎します